



第1回 不登校対策子ども未来サポート研修会 開催

8月1日(月)、第1回不登校対策子ども未来サポート研修会を開催しました。講師として堀木 敦子先生(三重県教育委員会事務局 生徒指導課 スクールソーシャルワーカー)をお迎えし『スクールソーシャルワーカーの効果的な活用』という演題でご講演いただきました。

講演では、「スクールソーシャルワーカーは『子どもがどうしたいのか』ということが一番大事にし、その子の置かれた環境に働きかけをしている。」というお話から始まり、スクールソーシャルワーカーの役割、活用のしかた、さまざまな関係機関があることなどを教えていただきました。また、グループワークを行い、挙げていただいた事例について参加者で考え、話し合い、交流しました。



堀木先生のお話より

スクールソーシャルワーカー(SSW)の活用

<子どもが置かれたさまざまな環境への働きかけ>

不登校・発達の問題
いじめ・家族関係・貧困
暴力行為・児童虐待
ネグレクト・メンタル疾患
など

☆直接的な支援

- ・児童生徒・保護者との面接(家庭訪問を含む)

☆間接的な支援

- ・ケースの情報収集、アセスメント、プランニング
- ・教職員へのコンサルテーション
- ・ケース会議の開催、参加
- ・関係機関についての情報提供
- ・関係機関との連携(仲介・調整)
- ・教職員研修



チームの
“ちから”

連携!!

困っている子どもの
「どうしたいのか？」
という思いに寄り添う

子どもの気になる行動には
何らかの背景や理由がある

地域の人材
や団体等

警察等の
関係機関

児童家庭福祉
の関係機関

保健・医療の関係機関

司法・矯正・更生
保護の関係機関

その他の専門機関

教育支援センター等
の学校外の教育機関

参加された方の感想より…

- ・「中心は子ども」であり、環境を整えることでその子の力を引き出すことが大切だとわかりました。「なんでもかんでもしてあげる」ことが福祉ではないというのが印象的でした。学校の中に福祉の視点からサポートして下さるスクールソーシャルワーカーさんがいてくださることは、心強いと改めて感じました。
- ・「細く長く途切れない、関係を切らさないこと」については、よく言われていることですが、進学先や将来の就労についても早い時期から、計画的に、本人や保護者の考えや気持ちを大切に、支援をしていくことが大切だと、改めて考える時間となりました。



教育支援センターNEST から



ヨガ教室 4, 6月 会場：大研修室

4月22日(金)、6月24日(金)に、ヨガインストラクターの浅井順子さんを講師としてお招きし、ヨガ教室を行いました。「自分の内側に集中し、ストレスに負けない心と体をつくろう」ということを意識し、リラックスした雰囲気の中、みんなで体を動かしました。全員が初めてのヨガ体験でしたが、参加した子たちからは「初めてでおもしろいと思ったけど、いざいとかんたんで楽しかったです。」「心が落ち着いて、最後は眠くなりそうだった。」などの感想をきくことができました。



陶芸教室 6月 会場：小俣老人福祉会館



6月17日(金)、小俣陶芸サークルのみなさんに教わりながら、世界に一つだけの器づくりに挑戦しました。土のこね方、土の表面や形の整え方などについて丁寧に指導していただき、子どもたちは集中して作品づくりに取り組みました。体験後は「ねこのはしおきを作るのが難しかったです。」「かわいいコップが作れて楽しかったです。」「まわりをでこぼこさせる工夫をした。」などの感想をきくことができました。数日後、焼きあがった自分の作品を見て、改めて「かわいい!」「何を入れようかな。」と話しながら、大事に持ち帰りました。

絵手紙教室 7月 会場：NEST 教室

7月8日(金)、柴田多嘉代さんを講師としてお招きし、絵手紙教室を開催しました。絵が苦手な子や、初めて参加する子も、柴田先生に「下手でもいい、下手がいい。」という声をかけていただき、思い思いに自分の好きなイラストや言葉を書くことができました。完成後はみんなの作品を貼り、自分の作品の紹介をしたり、柴田先生から講評をいただいたりしました。感想には「空の色をぬるのがおもしろかった。」「色の使い方を工夫してうまく描けたと思います。」「次回も参加できたらいいなと思います。」などと書かれていて、楽しい時間を過ごせたことが伝わってきました。

